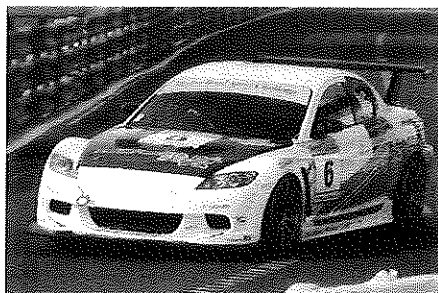
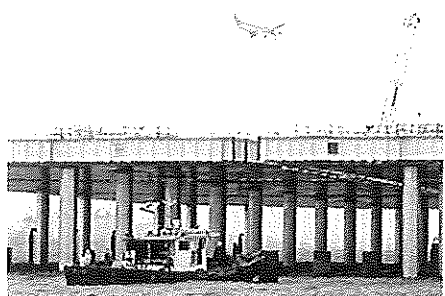


今回、すべての土台を埋め立てにしなかった理由は、環境への配慮からです。D滑走路の一部は、写真の奥に見える多摩川の河口部分にかかっています。土台すべてを埋め立て構造にしまうと川の流れを遮ってしまいます。そのため、滑走路の下でも水が自由に流れるように、土台を栈橋構造にしたのです。栈橋を支えているのは海底に打ち込まれた鋼鉄の柱。東京湾の水深は羽田沖で14~19メートルで、さらに海底から下に20メートル近くは、軟弱な地盤になっています。そのためジャンボジェット機でも安全に離着陸できるように、直径1.6メートルもの太さの鋼管を海底70メートルの深さまで打ち込んであります。

6本の杭を1組にして1基のジャケットを設置します。この大きさは幅63メートル、奥行き45メートル、高さ32メートル。13階建てオフィスビルに相当する大きさで、1基の重さは約1300トンにも及びます。このジャケットを全部で198基つなぎ合わせることで、海の上に約52ヘクタールもの「土地」が作り出されました。これは東京ドームのグラウンドの40面分に相当する広さです。このプロジェクトの最大の課題は、サビとの戦いでした。ジャケットの下面はサビに強いチタン製のカバープレートで覆われているほか、鋼管もステンレスを使って対海水性能を高める特殊な表面処理が施されており、海水を常に浴びる環境でも100年間の使用に耐える耐久性を誇っているとされます。(日経ビジネス オンライン記事より)



てクラッシュ。ダメージは広範囲に及んだものの、チームは突貫工事で修復を完了。21番グリッドからの決勝スタートとなった。最大500馬力を発生する138ターボREを搭載する谷川のRX-8は、スタート直後に総合4位にジャンプアップ。その後もじりじりと上位車に迫り、10周レースの終盤には2位に上がった。大逆転を狙って谷川はさらにプッシュし、首位と0.198秒差の総合2位、Bクラストップでチェッカーフラッグを受けた。このRX-8と谷川の圧倒的な強さは、現地メディアやレース関係者からも多に注目を集めていた。

マカオグランプリは、マカオがポルトガル領だった1954年から開催されている世界的に有名な市街地レース。一周約6kmのコースは、マカオ港ターミナル前の直線をスタートし、路面の悪い旧市街や極端にコース幅の狭いセクションなどがある難コースとして知られている。F3をメインに、WTCCツーリングカーや、二輪GPマシンのレースなどが組み込まれている。

谷川「初めて走るコースでしたがセッティングが順調に進み、練習走行では良いタイムが出せました。しかし、予選アタック周にミスし、かなりの高速でクラッシュしてしまいました。体に怪我もなく、クルマもチームの努力で完全に修復されホッとしました。決勝では、最終的に総合2位・クラス1位で表彰台に立てたので、本当にうれしかったです。来年は、総合優勝を目指したいです」。

★東京・大田区、ものづくり集積再構築協議会開催

地域の強み生かし産業活性化

◎基本計画を策定

東京都大田区はモノづくりの集積の強化を目指す「大田区企業立地促進基本計画」を策定する。大田区の特徴である全国屈指のモノづくりの集積に、ほころびが生じている現状を打破することが目的。大田区の工業地域である臨海部や、人工島の京浜島や城南島な

どを重点推進エリアとして、企業立地や操業環境の整備を進める。

基本計画は、2007年4月に成立した「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」(企業立地促進法)に基づく。同法は地域の特性や強みを生かして地域産業の活性化を目指すもので、立地企業への設備投資を促進するために特別償却の適用や日本政策金融公庫による低利融資制度などの支援措置が得られる。

◎既存産業と融合

大田区は工場の海外進出や経営者の高齢化、一昨年のリーマン・ショックに端を発した不況の影響もあり、製造業事業所数は83年の9190件から年々減少の一途をたどる。08年の工業統計速報で区内の製造業事業所は4351件。05年比マイナス427件で、年100件以上減少している計算になる。移転や廃業となった工場跡はマンションなどの住宅となるほか、京浜島や城南島では近年、物流や産業廃棄物処理業の参入が加速していて、都市型モノづくりが岐路に立たされている。そこで、重点推進エリアに高い付加価値を持った産業と、それを支える業種の立地を促進し、既存産業との融合を図ることで、モノづくり集積の再構築と区内産業構造の転換を進める。

◎国の認定取得へ

策定に際し、22日に「第1回大田区ものづくり集積再構築協議会」を開催。東京都や大田区といった行政、東京商工会議所大田支部、大田工業連合会、城南島連合会などの団体のほか、地元金融機関の日本政策金融公庫大森支店の支店長らが集まり、意見交換と基本計画の合意が得られた。今後、警視庁や関東経済産業局との協議を経て、年度末までに国の認定を得る。大田区産業経済部の石井芳明課長は「団結して大田区のモノづくりを支えていくことで合意できた。企業の集約を促進し、生産性向上と競争力の強化を図りたい」と話す。



企業立地や操業環境の整備を進める(東京・大田区の城南島)

城南島タイムズ



城南島連合会活動報告

働きやすい環境へ!

1. ガソリンスタンドオープン!
2. コンビニエンスストアオープン!
3. 島内一斉清掃(毎月曜日)
4. 交差点名プレート設置
5. 防災設備増設を大田区へ要望
6. ホームページ立ち上げ



城南島連合会 平成21~22年度事業

1. 城南島7丁目に昨年8月末ガソリンスタンドがオープンした事に伴い、当連合会としては、会員各組合・各社のご協力を頂き会員の皆様が無事な燃料が購入出来る様、努力する所存です。

2. 昨年11月27日に城南島企業が待ち望んでいたコンビニエンスストアが城南島2丁目にオープンいたしました。島内には、物販業を営む店舗等が立地していないため、多くの島内従業員の休憩所の確保にあたり、大変支障をきたしている状況にあります。東京都港湾局・大田区のご協力により、関係法令の制限を受ける工業地域の中、コンビニエンスストアのオープンは、働くものにとって良好な環境の創設に役立つものと思われます。

3. 今後の島内の環境美化を推進して行くために、ゴミ回収の回数を月1回から2回へ増加する様、大田区に要望書を提出してはりましたが、今年3月、大田区より決定の連絡があり、4月より第2・

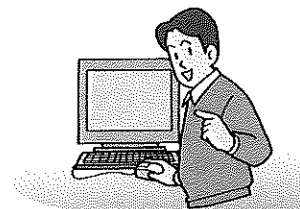
第4月曜日にゴミ回収を行うことになりました。毎月曜日を島内一斉清掃の日と定め、一層の島内環境美化に取り組む所存でありますので宜しくお願い致します。

4. 城南島並びにその近辺の交差点の名称が無い所もあり、東京都港湾局、湾岸警察署と名称について折衝してきましたが、下記3ヶ所の設置が完了いたしました。①環状7号から城南野鳥橋への右折交差点を「野鳥公園東」、②城南野鳥橋から城南島に入った二つ目の交差点を「城南島埠頭公園」③大田市場から国道357号への交差点を「京浜大橋北」。

5. 城南島には約200社2,000人を超える勤務者がおり、加えて海浜公園・東京港臨海道路を抱え島内勤務者以外の人口も数多いものと推察されます。こうした中、島内の防災放送設備は、城南島2丁目に1基しかなく、異常気象等の災害に対する備えは脆弱なものとしか

言えません。島内勤務者・来訪者等を対象に諸災害への備えを充実するため、大田区へ防災設備の増設を要望し予算取り交渉をしております。今後、大田区との折衝等の情報は、理事会議事録で会員企業に伝達していきたいと考えております。

6. 当連合会のホームページをネット上に立ち上げると共に、会員企業のホームページとリンクさせ会員企業の情報発信ツールの充実と売上に寄与できるよう検討する方針です。又、会員名簿も作成予定です。今後の検討事項・開発費用等については、理事会で検討を加え議事録等でご連絡する予定です。



編集後記

城南島タイムズは、読者の声の欄や掲示板コーナーをさらに充実させていきたいと思っています。皆様の積極的な活用をお願いいたします。

城南島連合会新聞委員会

城南島連合会活動報告

★城南島連合会第24回通常総会について

10月23日島内各組合、企業の代表者および来賓を招いて第24回通常総会がおこなわれました。総会では下記の事業報告および決算報告、次期の活動方針および予算案が承認されました。

平成21年度事業報告

1. 環境委員会

毎月、第2火曜日に実施している島内清掃により、島内全体の環境が改善し会員各社による清掃が定着化してまいりました。空地へのポイ捨て問題について、会員各社のご理解、ご協力を頂き対処していきたいと存じます。



2. 交通委員会

東京都港湾局・大田区・湾岸警察署と交渉しておりました大田市場から国道357号への左折する車線に増加する工事が昨年3月末に完了し渋滞が完全になくなりました。大森駅へのバスの所要時間も大幅に短縮され、皆様に喜ばれると共に経済効果も大変大きいと思われまます。

3. 交流委員会

例年、春と秋に実施している会員オーナーを中心としたゴルフコンペを今年度も開催し、会員の交流を図ることが出来ました。

4. 新聞委員会

「城南島タイムズ」の発行を定期的に年2回発行しており、今年度も委員の方の努力により12月24日第30号・8月10日第31号を発行し、会員の皆様に喜ばれる情報誌となっております。

5. 入退会報告

入会：(株)ファノス、サンコーシステム(有)、(株)リサイクル・ネットワーク、(株)東南製作所、宮松城南(株)、成友興業(株) 以上6社
退会：京南金属加工(協)、大田テクニカルセンター(協)、横浜共立倉庫(株) 以上2組合1社

★環境委員会より

環境委員長 田久保 隆幸

◎島内一斉清掃

京浜島でもすでに実施しておりますが、城南島でも島内一斉清掃を行い、ゴミの落ちていない美しい城南島を目指します。理事会議事録でお知らせしている通り、毎月曜日を島内一斉清掃日と定め、平成22年1月12日より実施する

事になりました。

開始時間は定めていませんが、午前8時～9時を基本として、その時間が難しいという企業は出来る時間帯で会社回りの道路・歩道の清掃をお願いします。

3月末までは申し訳ありませんがゴミ、落ち葉など取り置いて頂き、今迄通り、第2火曜日に取り置いたゴミを指定の場所に出して頂くようお願いいたします。平成22年4月以降は第2、第4月曜日に大田区が回収してくれることになりました。会員企業の皆様におかれましては、ご協力よろしくお願い致します。

★交通委員会より

交通委員長 杉崎 武春

◎東京湾トンネル一般部事業

平成22年10月に東京国際空港、通称羽田空港が4本目の滑走路新設に伴ない、首都高速道路湾岸線の東京湾トンネルの国道357号(一般部)のトンネル整備がスタートしており、首都高速湾岸線のトンネルの両脇に6車線を作る計画です。平成27年度完成予定です。



◎大井環七立体事業

この事業は国道357号と首都環状7号線が交差する環七大井埠頭交差点において、首都高速湾岸線の両脇に平行して高架橋を設けて交差点を立体化するものです。完成予定は明示されていませんが、すでに着工されていますので、平成24～25年には完成すると思われまます。



◎東京湾臨海道路(Ⅱ期)事業

中央防波堤外側埋立地から東京湾第3航路を超え、江東区若洲に至る約4.6Km部分です。平成22年度完成予定です。

★交流委員会報告

委員長 井上 忠道

(1)2009年10月3日(土)『ビーチクリーンアップin城南島きれいな浜辺を子供たちに』と題して、城南島海浜公園つばさ浜の清掃が行われました。

あいにくの天候で、雨の中での開催でしたが、事前の申し込みとほぼ同数の333人が参加。その内城南島連合会の参加は昨年の倍近い180名でした。

清掃後、恒例となりましたバーベキューでは、少しでも楽しんで頂くとうと雨の中を城南島でお仕事をしている社員の皆様と、豪州食肉家畜生産事業団 佐藤様のボランティアによるご活躍によって素晴らしい懇親会になったのではと思います。

雨が降らなければ、もっともっと本格的なバーベキューを堪能して頂けたと思います。

今年度はきっと晴天の下、昨年を上回る企画でお招きしたいと思います。(2)10月3日(金)に第24回通常総会が大森東急インにて開催されました。記念講演には大田区羽田空港担当係長 齊藤吉男氏をお招きして、「羽田空港の再拡張と国際化について」と題してご講演を頂きました。

政権与党が民主党に変わり、前原国土交通大臣の方針として羽田の国際化及びハブ化の推進がはっきりした事で城南島の環境も大きく変わっていくと思われまます。

(3)11月12日(木)に第20回連合会交流コンペが茨城県美浦ゴルフクラブで開催されました。優勝は内山城南コンクリート工業(株) 瀧本恭久氏。(4)2010年1月19日(火)平成22年城南島連合会新春賀詞交換会がホテルモンテ山王にて開催されました。

不況の嵐が舞うにも関わらず、会員と来賓合わせて75名の参加をいただき盛大に行われました。

杉崎会長の挨拶では、城南島の各施設の充実やコンビニとガソリンスタンドの開設により島内に従業員される皆様の利便性の向上の報告と、毎週月曜日に島内一斉清掃を行うことへの呼び掛けがありました。環境が良くなることは皆の願いです。

アトラクションには「ねんど」によるオカリナ演奏を披露して頂き賀詞交換会に花を添えていただきました。

★城南島連合会独自の

「ホームページ」開設のご提案

連合会副会長 佃 善文

城南島連合会事務局では、現在、独自のホームページ「HP」を開設する企画を検討しております。既に皆様ご承知の様に、インターネットによる広報活動は必須であり、個々にHPを開設されていることと思います。HPも当初は、一企業が多数の受け取り手に対する情報伝達手段でしたが、現在は、ユーザーサポートに変化してきております。ですので、お客様からの検索に対しては、あらゆる手段で自社を検索し易いものにする必要があります。

又、城南島連合会HPの開設により、連合会を構成する事業所間での連携が



より親密になり、城南島をあらゆる意味で、より元気にする企画だと思っております。

更に大田区や東京都のHPとリンクし、行政に対するアピールも期待できます。以上もろもろの効果を期待して本企画を推進してまいりますので、会員皆様のご協力をよろしくお願い致します。



島内企業間のメーリングリストの作成にもご賛同ご協力を頂ければ、事務局の事務の効率化にも大きく寄与すると思われまますので、その件もよろしくお願い申し上げます。

★城南島連合会ゴルフ会優勝

にあたって

内山城南コンクリート工業(株)

顧問 瀧本 恭久

美浦ゴルフクラブは、2009年6月ニチレイPGMレディースが開催されたチャンピオンコースでの今回の城南島連合会ゴルフ会、私にとって久しぶりのゴルフなので、一ヶ月前から毎週土曜日・日曜日と練習場に通り準備万端整え参加しました。

連合会のゴルフは、皆さんと和気あいあい楽しめるゴルフ会なので何時も楽しみにしており、又、今回のコースにチャレンジして女子プロのレベルの高さを痛感しました。

内山城南コンクリート工業(株)に勤務し40年、今年の7月で69歳になり常勤顧問として勤めております。

現在の趣味は、ゴルフですが、同年代のライバルが、病気持ちとか、亡くなったりして少なくなり昔のようにゴルフに対して情熱が薄れてきました。

今回図らずも、パートナーに恵まれ優勝できたことを、私としては大変喜んでおり、ゴルフに対し「モチベーション」が揚がった事を感謝します。

今後も許される限り連合会のゴルフ会に参加したいと思いますので、よろしくお願い致します。



★城南島にコンビニオープン

昨年11月24日火曜日朝7:00にコンビニエンス・ストア「ポートストア城南島店」がオープン致しました。お酒・タバコ・ATM・郵便ポストが設置され

ている他、駐車場も広く大変使い勝手の良いコンビニとなっております。

コンビニオープンに当たり当連合会では、ご尽力を頂いた鈴木あきまさ都議会議員・東京都港湾局の担当者にお礼文を送付しておりますので、その内容をご紹介します。



拝啓 日頃より、当連合会の活動につきましては格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、かねてより城南島内利便施設の整備について要望しておりましたコンビニエンス・ストアについて、11月24日火曜日に新装開店となりました。城南島は工業専用地域のため関係法令の規制がある中、開店までの間終始温かなご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

従来、島内企業の多くは消耗品等の購入について、大田市場又は大森まで車で出かけるか、朝夕の通勤時に対応するしか方法が有りませんでした。コンビニエンス・ストアが開店となったことにより、物品購入に対する時間は大幅に削減され大変助かっております。又、当連合会の会合に於いて、コンビニエンス・ストアを実際に利用した島内従業員より「店員の対応が良い」「品ぞろえが良い」「トイレ・休憩所があり、振込も出来る。大助かりだ」「駐車場が広く使いやすい」等、多くの方々が喜んで言葉を頂いております。

本来であれば、お伺いの上御礼を申し上げます。敬具

★大森消防署からのお知らせ

大森消防署 長谷川 覚知

◎つけましたか？住宅用火災警報器！

東京消防庁では住宅用火災警報器の設置を促進しています。

今お住まいの住宅は、平成22年4月1日から住宅用火災警報器の設置が義務化となり、新築、改築する住宅は、平成16年4月1日から住宅用火災警報器の設置が義務となっております。



●どうして住宅用火災警報器が必要なの？

火災による死者の8割は住宅火災から発生しています。又、住宅火災により亡くなった人の5割が「発見の遅れ」によるものです。

住宅用火災警報器は、火災の煙や熱を感知して警報音等で知らせてくれるので、火災の早期発見に大変有効です。

●どこに設置が必要なの？

住宅用火災警報器は、すべての居室、

台所、階段に設置が必要です。(浴室、トイレ、洗面所、納戸などは含まれません。)

出火場所の1位は居室、2位は台所等です。

●住宅用火災警報器安心相談ダイヤルを設置しました。

住宅用火災警報器に関する相談ならどんなことでも構いませんので、お気軽にお問合せください。

連絡先は0120-282-119です。

東京都内からおかけの場合に限り、ご利用できます。IP電話等からはご利用できません。

利用時間は午前8時30分から午後7時までです。(土、日、祝日を除きます)

設置期間は平成21年12月1日から平成22年12月28日までです。

問い合わせ先

大森 防火管理係 覚知 磯邊
電話 3766-0119

★2010年10月

東京国際空港として 新しく生まれ変わる羽田空港

4本目となる滑走路が完成して、発着枠が3割以上拡大し、羽田空港が長年抱えてきた課題を解決し、国際線の発着枠も6万回/年に増加して、いよいよ国際空港化が一段と進む事になりました。

新滑走路の建設は、様々な制約がある中で困難を極めた。ただ、それが埋立地と鋼鉄製の棧橋をドッキングさせた「ハイブリッド滑走路」を生み出すきっかけともなりました。



写真①の手前に見えるのが、4本目の滑走路で、正式には「D滑走路」と呼ばれる。

2500メートルの滑走路のうち、東京都側(写真では左側)の3分の1の土台が鋼鉄製の棧橋で出来ている。残りは従来の拡張工事と同様に、埋め立てで土地を造成しています。

(次ページへ)



写真①